



学校だより
令和5年6月1日
(2023年) 第3号
城陽市立城陽中学校
www.kyoto-be.ne.jp/joyou-jhs/cms

-生徒会スローガン-
言葉でつながり合う日本一の中学校
～ みんなで広げる心の輪 ～

暑さに負けず、学期の後半を突き進もう

中間テストも終わり、1学期も後半に差し掛かりました。6月は、各学年ともに、大きな行事を控えています。教科の学習だけでなく、社会的な力を伸ばす意識を大切にしましょう。



教室で席について授業を受けているだけでは得ることのできない、貴重な体験や学びがたくさんあることと思います。それらの学びは、今後の人生を生きていく上で必ずみなさんの支えとなるはずで、大きな成果が得られることを期待しています。

学校公開日 多数のご参加 ありがとうございます

5月13日(土)には、学校公開が行われました。今年度はじめての学校公開とあり、多数のご参加をいただきありがとうございました。

当日は、1年生では非行防止教室を、3年生では薬物乱用防止教室をそれぞれ実施しました。城陽警察署・宇治警察署・木津警察署・田辺警察署・八幡警察署より、スクールサポーターの方を講師に迎え、子ども達を取り巻く現状や、社会一般における法やルールについて、実例を交えて教えていただきました。

ネットトラブルや薬物など、「自分は大丈夫」と思っていることでも、知らないうちに被害に巻き込まれたり、場合によっては意図せず加害になっていたりすることもあり、「正しく知ることから始める」ことが、いかに大切なのかを学ぶ機会となりました。

また、今年度は部活動参観と合わせて、部活動ごとの懇談会を実施しました。顧問より部活動における指導方針についての説明や、日頃の様子を交流する機会となりました。



避難訓練を実施しました

5/26(金)に、全校で避難訓練に取り組みました。今学期については、地震発生を想定した訓練を実施し、全校生徒が避難を行いました。今回は、授業時間内に定められた避難経路を通っての訓練でしたが、実際には休み時間や登下校中に起きることや、避難経路が塞がって通れないなどの不測の事態もあります。日頃から備えておく心がけを大切にしましょう。



”社会を明るくする運動”標語

第73回”社会を明るくする運動”の一環として取り組んでいる標語の入選作品が以下のように決定しました。

特選	おかえりなさい いつもの君を また見たい	3年1組	原田 柑菜
入選	あいさつは 心を開く パスワード	2年3組	高光 達弥
入選	「大丈夫？」 その一言で 繋ぐ幸せ 繋がる命	2年4組	阪下 和佳奈
入選	過去でなく その人の今を 大切に	1年2組	芝原 歩未



6月の主な予定

3日(土)	城久夏季陸上大会	
5日(月)	生徒総会	
6日(火)	1年 校外学習(友愛の丘)	
7日(水)	2年 校外学習(京都市内班別研修)	
10日(土)	3年 修学旅行(沖縄)	
11日(日)	3年 修学旅行(沖縄)	
12日(月)	3年 修学旅行(沖縄)	
13日(火)	3年 振替休日	
18日(日)	山城陸上大会	
19日(月)	歯科検診 諸費振替日	
22日(木)	心電図検診二次	
26日(月)	期末テスト1日目(給食なし)	スマイルあいさつ(PTA・地域委員)
27日(火)	期末テスト2日目(給食なし)	スマイルあいさつ(PTA・地域委員)
28日(水)	期末テスト3日目(給食あり)	諸費再振替日
30日(金)	3年 振替休日	



【テスト前部活動停止】19日(月)～27日(火)
【平日部活動休養日】各週水曜日

今年度から、授業のある日の毎週水曜日を固定の部活動休養日とします

熱中症予防講座講座

明治国際医療大学の吉田行宏氏に講師として来ていただき、5/29(月)に1年生を対象とした熱中症予防講座を実施しました。熱中症について正しく理解し、その予防法や万が一のときの対処法を学びました。今年は記録的な猛暑日が続きますが、今回の講義を活かして自分自身の身体をしっかりと管理できるようになってくれればと思います。



ケガの予防講座

1年生と同じく吉田氏を講師として、2年生では、ケガの予防講座を実施しました。講義だけでなく実際に体を動かしながら、身体の仕組みを理解し、予防に努める上で何が大切なのかを学びました。睡眠や食事、スマホやゲームの使用時間なども、健康と深く関わっていることなど、貴重なお話を聞くことができました。



正解のない問いに向かうこと

先週には中間テストがありました。そろそろテストが返ってきた頃でしょうか。そして6月、様々な行事を挟み、月末には期末テストがあります。全学年実施の府診断テスト、3年生はそれに加えて実力テストもありました。

テストや授業が続き、いつの間にか生まれるのが「テストで良い点をとることが大事」という感覚ではないでしょうか。「テストで良い点を取るためにテスト勉強を頑張る」もちろん大切なことなのかも知れませんが、特に3年生にとっては、「希望進路実現」という目標のために、「良い成績を取りたい」という思いはもっともな気持ちだと思います。

ここで忘れてほしくないのが、みなさんの勉強している教科のテストは、「すでに過去の学者や誰かが正解を出したことがある問い」を、「教わり、覚え、再生している」に過ぎないということです。そう、教科書にあるのは「正解のある問い」なのです。

でも、みなさんにとっては「未知」のこと。「新しく学ぶ」ことです。教科の学習を通じて身につけてほしいのは、「未知へのアプローチの仕方」だと思います。それはどこに結びついていくのかというと、「正解のない問いに向かう」姿勢にたどり着くのだと思います。

この世の中には、「正解のない問い」の方が、圧倒的に多いのです。例えば、長引く戦争の終わらせ方。例えば、ケンカした友達との仲直りの仕方。例えば、大切な人の愛し方。例えば、食い違う意見の合わせ方。

そのような、「正解のない問い」に直面したときに、「無理。解けへん。」で終わるのではなく、どう向かうのか。教科の学習を通じて、それを学ぶ機会としてもらいたいと思います。今すぐ解けなくても構わないから、「未知を乗り越える力」を学んでいきましょう。